

第2次 小山町保健計画

きらら 21

~ 健康をつくる人々がくらす町・おやま ~

平成13年 3月



はじめに

豊かで活力のある町を築きあげるには、町民の健康保持・増進が不可欠であることはいうまでもありません。

町では、これまで平成6年度に策定した『小山町 保健計画』に基づき、総合的な保健施策を積極的に推進し、町民の健康水準の向上を図ってきました。

しかしながら、21世紀は少子高齢化及び核家族化がさらに進展し、また、疾病構造の変化など、町民を取り巻く社会状況や生活環境は目まぐるしく変化することが予想されます。そのため、これからの健康づくりは、いかに病気になることを予防し、健康寿命を延ばすかが、大きな課題となっています。

このような背景のなか、国では一次予防の重視と高度な生活の質の維持を目標とした『健康日本21』を、静岡県ではいきいきとした健康社会の実現を目指した『しずおか健康創造21』をそれぞれ策定しました。町においても、これら国・県の動向を踏まえて、町民一人ひとりが主役の健康づくりに取り組み、みんなで支えあって健康づくりを実践する地域社会を目指す『第2次 小山町保健計画 きらら21』を策定いたしました。

この計画は、「自分の力に地域の力を合わせ、自分たちの健康は自分たちでつくる」という新しい考え方を基本として、町民の健康づくりに対する意識の高揚を図り、個人的にも、また、組織的にも健康づくりが活性化するまちづくりを行うためのきめ細かな施策を示しております。

本計画の実施にあたりましては、町民の皆様をはじめ、関係機関や各種団体のご理解とご協力をいただき、生涯にわたる健康づくりの諸施策を積極的に推進してまいりたいと考えております。

おわりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただいた小山町健康づくり推進協議会の委員の皆様をはじめ、関係者各位に対し、厚くお礼申し上げますとともに、今後ともなお一層のご支援をお願い申し上げます。

平成13年3月

小山町長 長田 央

小山町町民憲章

わたくしたちは、富士のもと、
水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、
金太郎のように、健康で、明るい、
ゆたかな町づくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。



健康福祉会館（ふじみセンター）は、町民の健康づくりと福祉の拠点として、平成12年4月にオープンしました。

～ 第 2 次 小山町保健計画目次 ～

第 章 総論	1
計画策定の趣旨	1
計画の名称	1
計画の性格	2
1 計画の位置づけ 2 計画の役割	
計画の構成と期間	3
1 総論 2 基本構想 3 基本計画	
4 実施計画 5 計画の期間 6 計画の評価	
小山町の概要	4
1 位置・地勢 2 人口・世帯	
3 産業の状況 4 施設等の状況	
第 章 基本構想	7
計画の目標	7
基本方針	7
施策の体系	9
第 章 基本計画	11
1. 母子保健	11
基本的な考え方	
現状と課題 事業体系	
(1) 母子保健の現況	
(2) 母性保健事業	
(3) 乳幼児保健事業	
(4) 歯科保健事業	
(5) 栄養指導事業	
目標と指標	
施策の方向と主要施策	
2. 学校保健	19
基本的な考え方	
現状と課題 事業体系	
(1) 児童・生徒の健康の現況	
(2) 学校保健事業	
(3) 歯科保健事業	
(4) 食育	
目標と指標	
施策の方向と主要施策	

3.	成人・老人保健	26
	基本的な考え方	
	現状と課題	
	事業体系	
	(1) 成人・老人保健の現況	
	(2) 健康教育・健康相談事業	
	(3) 健康診査・各種検診事業	
	(4) 機能訓練事業	
	(5) 訪問指導事業	
	(6) 歯科保健事業	
	(7) 精神保健事業	
	(8) 産業保健事業	
	(9) 健康づくり食生活推進事業	
	目標と指標	
	施策の方向と主要施策	
4.	感染症対策	42
	基本的な考え方	
	現状と課題	
	事業体系	
	(1) 結核	
	(2) 各種予防接種	
	目標と指標	
	施策の方向と主要施策	
5.	健康危機対策	45
	基本的な考え方	
	現状と課題	
	(1) 予想される健康危機	
	(2) 健康危機管理体制	
	目標	
	施策の方向と主要施策	
6.	健康を支える環境づくり	50
	基本的な考え方	
	現状と課題	
	(1) 保健施設等の環境づくり	
	(2) 人材・情報の環境づくり	
	(3) 医療体制の整備	
	目標	
	施策の方向と主要施策	
7.	健康づくりの推進体制	57
	基本的な考え方	
	現状と課題	
	(1) 保健・福祉・医療・教育の連携	
	(2) 個人を支える地域活動	
	目標	
	施策の方向と主要施策	

参考資料	59
統計資料	
小山町健康づくり推進協議会委員名簿	
第2次 小山町保健計画策定の経緯	

第I章 総 論

計画策定の趣旨

町では、平成6年3月に『小山町保健計画』《きらら2000》を策定し、「健康をつくる人々がくらす町・おやま」を目指して、総合的な保健施策を積極的に推進し、町民の健康水準の向上を図ってきました。

しかし、21世紀は少子高齢化及び核家族化がさらに進展し、また疾病構造の変化など町民を取り巻く社会状況や生活環境は目まぐるしく変化を遂げ、これに伴い、町民意識も多様化し、行政へのニーズは一層増大してくることが予想されます。

このような状況の中で、県は平成12年3月に『静岡県地域保健医療計画』及び新健康づくり運動指針『しずおか健康創造21』を策定しました。

小山町においても、この計画等と連携しながら、町の役割である住民に対し身近で質の高い保健サービスを一元的に提供することの対応を求められています。

このため、保健、医療、福祉及び教育の十分な連携を図りながら、町民の健康ニーズに的確に対応するための健康づくりのあり方や、少子化に伴う母子保健対策、高齢化に伴う老人の健康対策など増大する保健需要対策を総合的、計画的に推進するため、『第2次 小山町保健計画』を策定します。

計画の名称

第2次 小山町保健計画

『きらら21』

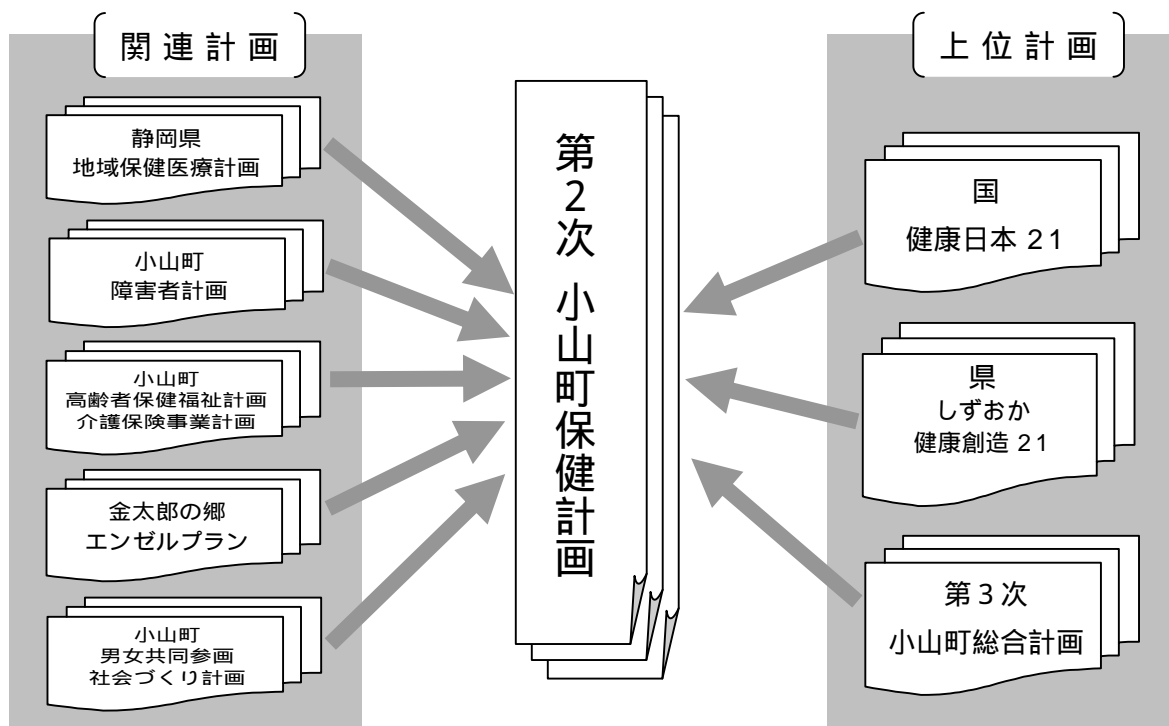
～健康をつくる人々がくらす町・おやま～

計画の性格

1 計画の位置づけ

この計画は、国の『健康日本 21』及び県の『しずおか健康創造 21』との整合性を図り、第3次小山町総合計画（平成 12 年度策定）の部門別計画として、小山町における保健施策の基本となる計画です。

また、『静岡県地域保健医療計画』及び『小山町障害者計画』、『小山町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』、『金太郎の郷エンゼルプラン』等との関連性を重視した計画であり、「健康をつくる人々がくらす町・おやま」を推進するものです。



2 計画の役割

この計画は、地域住民の健康づくりについて地域の実情、特性に応じた重要な役割を果たすものです。

また、町民の意見や意識の実態及び各組織からの多くの声を参考にし、町民の健康づくりのために行政と町民が一体となり推進するものです。



計画の構成 と期間

この計画は、「総論」・「基本構想」・「基本計画」の三部構成とし、具体的な「実施計画」については施策・事業の進捗状況や財源などを反映させながら、年度ごとに検討を行います。

1 総 論

総論は、保健計画策定の趣旨や計画の性格及び小山町の概況等を示すものです。

2 基本構想

基本構想は、町民の健康保持増進を図るための基本的方向を示すものです。

3 基本計画

基本計画は、本町における保健医療の現状を照らして、明らかにされた課題を解決するために、保健活動の分野別に目標年度である平成 22 年度までに取り組むべき施策を示すものです。

4 実施計画

実施計画は、基本計画で明らかになった基本的施策を実施するための具体的な計画であり、各年度ごとに予算措置と合わせて検討するものとします。

5 計画の期間

この保健計画は、平成 13 年度を初年度とし、小山町総合計画の目標年度である平成 22 年度（西暦 2010 年）までの 10 年間で計画期間とします。

6 計画の評価

保健、医療、福祉等の動向や経済社会の状況等の変化や町民のニーズにも的確に対処するため、平成 17 年度に中間評価を行い、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

1 位置・地勢

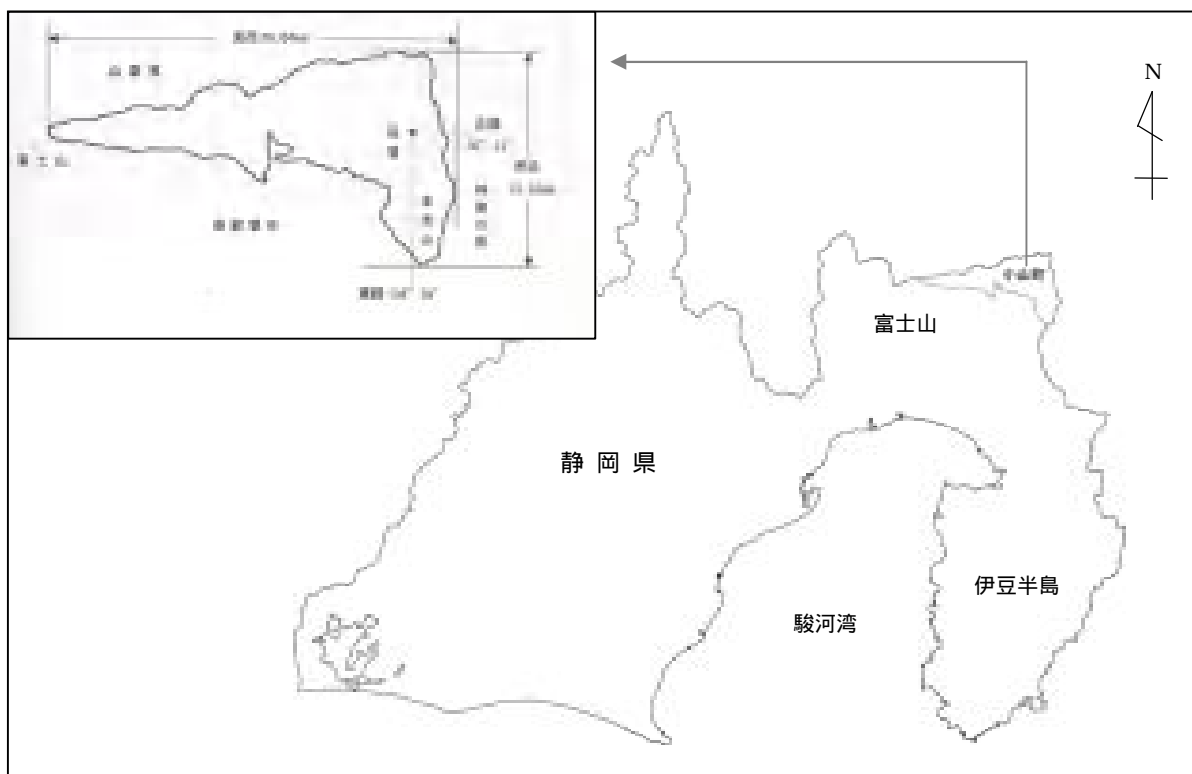
小山町の概要

本町は、静岡県の北東端に位置し、神奈川・山梨両県に接する県境の町です。

総面積は 136.13km²、東西 26km、南北 13km と東西に長い町で、北西端は富士山頂まで達しています。富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と丹沢山地、箱根外輪山、足柄山嶺にとり囲まれて盆地を成し、河川は源を富士山・箱根両山系に発する鮎沢川が、佐野川・須川・野沢川と合して東流し、酒匂川となって相模湾にそそいでいます。市街地・農耕地は、海拔およそ 250m から 800m の間にわたる緩傾斜地帯に位置するため、東海地方にありながら夏も比較的過ごしやすい気候を有しています。

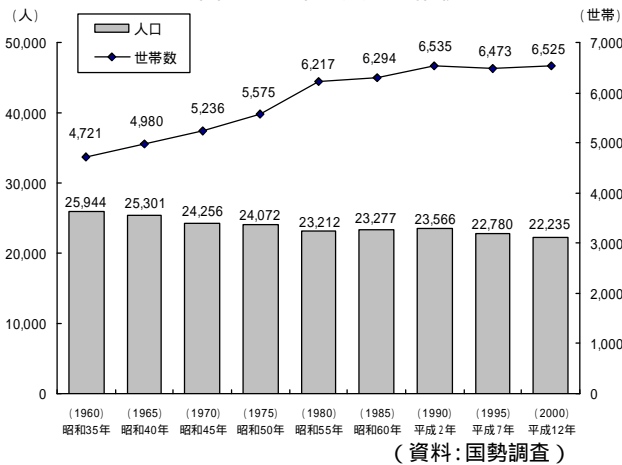
また、東京からは 100km 圏内であり、東名高速道路をはじめ国道 246 号線・138 号線・東富士五湖道路などの幹線道路が貫通している他、JR 御殿場線・小田急線との相互乗り入れ、ハイウェイのバスストップや御殿場インターにも恵まれ利便性が高く、ゴルフ場や霊園などもあります。

金太郎誕生の地として知られ、名勝史跡など数多くの文化財に恵まれているとともに、住民が健康な生活を送るための良好な自然にも恵まれた町です。



2 人口・世帯

【図1 世帯・人口の推移】

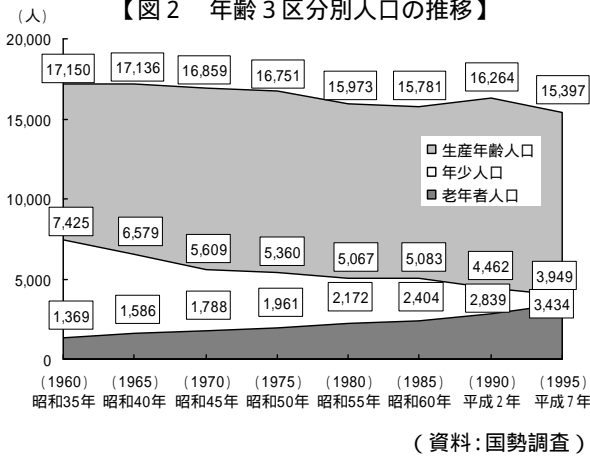


平成12年の国勢調査による総人口は22,235人、世帯数は6,525世帯で、一世帯当たりの人員は3.4人となっています。人口及び世帯数の推移を平成12年の40年前、昭和35年から比べると、人口は緩やかに減少しており、昭和55年以降一旦横ばいとなりますが、平成7年には再び減少しています。(図1)

一方、世帯数は増加傾向にあり、昭和35年と平成12年とでは1,804世帯の差があり一世帯当たりの人員が減少しています。(図1)

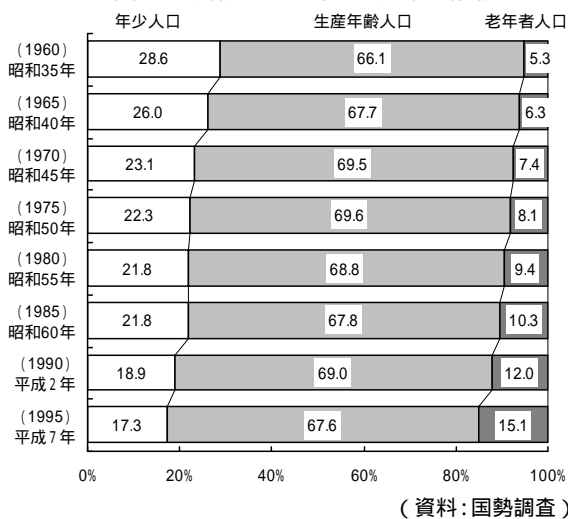
年齢別人口構成をみると、平成7年の年少人口は17.3%(3,949人)、生産年齢人口は67.6%(15,397人)、老年人口は15.1%(3,434人)となっており、年少人口及び生産年齢人口が減少している一方、老年人口は増加しており、高齢化傾向がみられます。(図2・3)

【図2 年齢3区分別人口の推移】

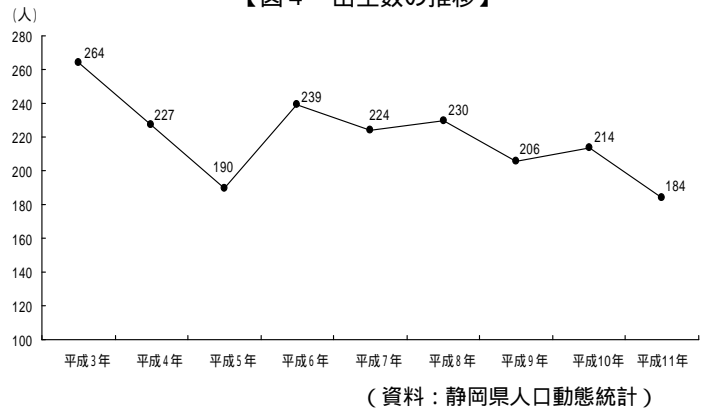


出生数の平成3年からの推移をみると、平成5年までは著しく減少しています。平成6年以降3年間は230人前後で推移していますが、その後は再び減少しており平成11年には184人となっています。(図4)

【図3 年齢3区分別人口比率の推移】



【図4 出生数の推移】

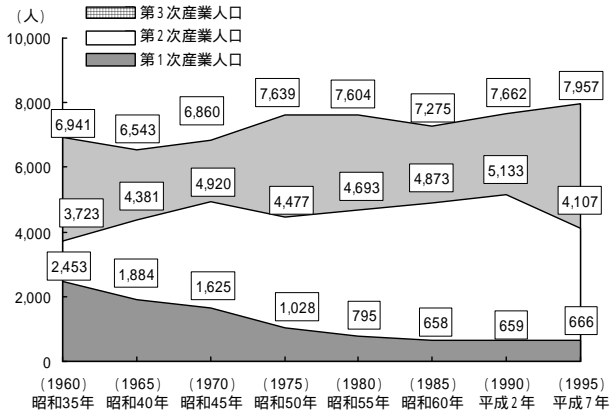


第2次 小山町保健計画

～健康をつくる人々がくらす町・おやま～

3 産業の状況

【図5 産業人口の推移】



(資料: 国勢調査)

平成7年の就業人口は12,746人で、人口の56.0%を占めています。産業別人口は、第1次産業が666人(5.2%)、第2次産業が4,107人(32.2%)、第3次産業が7,957人(62.4%)、分類不能が16人(0.1%)で、第1次産業は減少傾向にあり、昭和35年と比べると4分の1近い減少となっています。

一方、第3次産業は増減を繰り返しながらも全体的には増加する傾向にあり、平成7年は過去25年間の中で最も高い割合となっています。(図5)

4 施設等の状況

【表1 医療機関数】 (人口10万対)

施設数	設置数(実数)	町	県平均	全国平均
病院	3	18.6	4.8	7.4
(一般病院)	(2)	9.0	4.0	6.5
(一般病床数)	(150)	678.6	824.6	996.8
(精神病院)	(1)	4.5	0.8	0.8
(精神病床)	(77)	348.4	194.6	284.0
診療所	10	45.2	65.3	71.6
(一般診療所)	(5)	(22.6)		
歯科診療所	6	27.1	42.9	48.7
調剤薬局	8	36.2	36.7	34.9
保健センター	1	4.52	1.41	1.25

*平成12年10月30日現在

但し、県・全国平均は、平成10年の数値

(資料: 静岡県健康福祉部・健康福祉データの推移)

町民の健康づくりの拠点として、平成12年4月に健康福祉会館が完成し、その1階に保健センターが開設されました。

また、医療機関数は、平成12年10月31日現在、病院が3施設、一般診療所が5施設で、人口10万人あたりでは、病院が18.6施設、診療所が22.6施設となっています。県や国と比較すると、病院の数では上回っていますが、診療所数及び病床数では下回っています。また、歯科診療所は6施設、調剤薬局は8施設となっています。(表1)